



本郷文化フォーラム
ワーカーズスクール

2021年度前期講座 5月15日(土)～9月25日(土)

平日 PM6:45～9:00

土曜 PM1:00～3:30

●2021年度前期開講講座

5月15日(土) 小林勝と日朝連帯の思想

——生まれ「故郷」への郷愁を拒否し故郷と隔絶された在日朝鮮人にアプローチした稀有の作家

講師＝**下 幸洙** (文芸評論家・元朝鮮大学校教授)

●5月22日(土) 日本・朝鮮・沖縄

——辺野古反基地闘争のなかで考えること

講師＝**金 治明** (沖縄戦と朝鮮人強制連行を記録する会)

●5月29日(土) オリンピック・パラリンピックを中止に！

講師＝**谷口源太郎** (スポーツ・ジャーナリスト)

●6月2日(水) 日本労働運動、焦眉の課題を語る

——なぜ労働組合は春闘を闘えなくなったのか

講師＝**宮川敏一** (元京成電鉄労働組合書記長)

●6月5日(土) 中国共産党創立100年の歴史と今日の課題

——「中国社会主義中上級段階試論」を踏まえて

講師＝**瀬戸 宏** (摂南大学名誉教授/中国現代文学演劇、中国社会主義論)

●6月12日(土) 朝鮮労働党第8回大会から見る朝鮮

民主主義人民共和国の内外政策

講師＝**李柄輝** (朝鮮大学校 朝鮮問題研究センター教授)



●最寄りの交通機関
 ・都営大江戸線「本郷三丁目」駅⑤番出口 徒歩4分。
 ・東京メトロ丸の内線「本郷三丁目」駅②番出口 徒歩5分。

HOWSで学ぼう

抵抗と変革を志すひとびとへ



2020年度後期開講講座

●コロナ禍で進む富裕層優先政策と軍事増強路線

全世界で猛威をふるっている新型コロナウイルスは、日本ではワクチン接種も遅々として進まず、変異株も出現するなど、いまだ終息のめどがたっていません。そうしたなか、菅政権のいのち軽視・カネ儲け第一主義政策は、貧困層を中心に生活困窮者を生み出す一方で、一部の富裕層の富を増加させる結果となっています。

今年に入って行なわれた2回目の緊急事態宣言による夜間の時短要請によって、飲食店の経営は打撃を受け、その結果、減給や失職などに苦しむ貧困層が増大し、生活苦による自殺や路上生活に追い込まれる人も数多く出ています。他方、安倍前政権時代からの日銀の「異次元の金融緩和」施策による株価の異常な高騰によって、トヨタやユニクロなどのグローバル大企業、IT産業等が多大な恩恵を受け、利益をあげています。

菅政権による、固定資産税の据え置きや住宅ローン減税、エコカー減税の適用期間の延長などの経済対策は、どれも土地・持ち家・車を持たない貧困層にはまったく無関係です。いま必要なことは、すべての人々への無料のPCR検査と生活困窮者への生活保障をすみやかに実施するなど、いのち優先の施策です。

菅政権は、暮らしの崩壊による人々の不安をそらすために、中国・朝鮮敵視政策を強めています。とくに、日米軍事同盟の強化を念頭においた反中国キャンペーンは目にあまります。中国の海警法の「危険性」や尖閣諸島(釣魚島)周辺の中国公船の航行を「侵入」と称して危機を煽り、沖縄・辺野古の新基地建設や南西諸島への自衛隊配備などの軍事増強政策を推し進めています。最近では、「敵地」上陸作戦を想定した「日本版海兵隊」である陸上自衛隊「水陸機動団」を辺野古に常駐させるという内容の日米極秘合意があきらかになるなど、「専守防衛」原則ですらかなぐり捨てられようとしています。

●暮らしを守るための行動指針を獲得しよう！

コロナ禍で、医療や福祉などの社会保障制度が長年にわたり切り崩されてきたことの弊害が誰の目にもあきらかになりました。ブルジョワ階級の思想と行動の根幹にある「今だけカネだけ自分だけ」の利己的な自己中心主義を批判・変革すること抜きには、わたしたちは、自分たち労働者の暮らしを守ることはできません。

今期HOWSでは、コロナ禍で明らかになった医療問題や労働運動の課題などを通じて、わたしたちが社会の主人公として労働現場や政治参加の場面でいかに行動・実践すべきなのか、その具体的な指針を探っていきたくと考えます。また、今年7月に創立100年を迎える中国共産党や朝鮮・キューバなど社会主義国における闘いの歴史と教訓を通じて、インターナショナルで階級的な視点がなぜ必要なのかを共に学びましょう。

●HOWSとは？

2000年に出発したHOWSでは、さまざまなテーマをつづじて、わたしたちが生きる21世紀の現代世界がいったいどのような姿をしているのか、そしてそれにわたしたちがどのようにかわり、変革の担い手になりえるのかを一貫して追究してきました。HOWSは参加者全員で、この社会を根底から変革する思想と文化の創造をめざしています。HOWSは、講師が教える人で受講生が教えられる人ではなく、共に学んでゆく場です。1回の講座で問題がすべて理解でき、解答が与えられるわけではありません。また毎回の講座を通じて、新たな疑問や課題が見つかることもあります。問題を多角的かつ、継続的に考えることができるのも、HOWS講座の魅力です。あなたもHOWS講座に参加して、この社会を複合的に観る目を培いましょう！